



2017. NO
122

けいぶ

目次	
●決算調査報告	2～5
●9月定例会	6～7
●議会トピックス	8～9
●6人が一般質問	10～15
●傍聴席から一言・議会のうごき	16
●軌跡	16

**ちからを合わせ
心をひとつ
（未上小運動会）**



総務建設常任委員会調査報告

調査の結果及び意見

○総務課

(行政係)

地方バス運行等特別対策補助金については、年々増加傾向にあり、人吉・球磨地域公共交通活性化協議会において、路線、便数等の見直しを含め、産交バス、くま川鉄道、コミュニティバスなどの有効的な公共交通網が形成されるよう検討されたい。電算管理費については、今後とも番号法に関連するシステム改修が予想され、引き続き適切な対応を望む。

(財政係)

予算の執行状況については、適正に処理がされており評価できる。

財政構造の弾力性を判断する

経常収支比率については、前年度より3%増加となったが、健全化判断比率においては、実質公債費比率9.6%（3カ年平均）、将来負担比率92.9%と前年度より減少しており、財政の健全化が進んでいることには評価できる。

今後、町を取り巻く財政状況が厳しくなっているので、自主財源や国庫補助金等の財源確保に努められたい。

(消防交通・管財係)

交通安全施設、防犯施設の整備については、適切に対応できている。今後も、地域住民の意見を反映し、随時対応されたい。

非常用自家発電機の整備をはじめ、防災資機材等の整備も進んでおり評価できる。引き続き、住民の生命財産を守るため防災

対策を推進されたい。

消防再編については、計画最終年度を迎えるにあたって、スピード感を持って積極的な話し合いを進め、団員の意見を尊重し、地域の実情に合った再編を進められたい。

火災時の初期消火等に有効な町上水道消火栓対応のホース格納庫48基の整備がなされているが、残る消火栓についても計画的な整備を図られたい。

○企画観光課

告知放送の運営（あいねっと放送）については、より多くの住民が情報を共有できるように、加入率の上昇並びに活用促進に努められたい。

ふるさと回帰推進事業においては、地域おこし協力隊員の更

なる活用を含め、空き家の活用を促進し移住定住に向けた施策の推進を望む。

ファン創造プロジェクトにおいては観光、物産、プロモーションの3つの軸を中心に具体的な施策を実施されている。プロモーションについては、看板を設置するなど錦町エリアに入ることが分かるようなアピールに努められたい。

人吉海軍航空隊基地跡関連の事業に関しては、来訪者の現地案内、メディア対応などの成果が伺える。今後も来訪者が増えることが予想されるため、安全対策や見学コースの整備など積極的に進められたい。

○ 税務課

自主財源として重要な税であるが、平成28年度決算においては全税目が前年度収納率を上回っていることに対し評価したい。また、法人町民税現年課税分は初の収納率100%であり、努力の成果がうかがえる。

課税事務、滞納処分 の停止、並びに不納欠損処理については、税負担の公平性と歳入確保の観点からも引き続き慎重かつ厳正に取り扱われるとともに、専門研修を通じ個々の職員の能力向上に努められたい。

○ 地域整備課

道路改良事業については、町内に多くの工事を要する箇所があるため短い区間でも数回に分けて実施している。可能な限り調整を行い、短い区間の工事については1つの工事で施工できるように望む。

錦大橋架設事業については、平成30年3月末の開通に向け、

事業が進められているが、今後も引き続き安全対策に留意し、完成に向けて工事の計画的な進捗に努められたい。

住宅リフォーム補助制度については、地域経済の活性化及び住民の生活環境改善に大きく寄与している。利用者の増となるよう更なる啓発を行い推進されたい。また、水道・下水道事業の接続推進を図るため、本補助制度を積極的に活用して、加入率向上に努められたい。

簡易水道事業は、3月31日をもって打ち切り決算を行い、4月から公営企業会計に移行した。水道事業は、独立採算の原則に沿った経営が必要となることから、料金収入確保は喫緊の課題である。

また、消火力強化のため、町内各地に消火栓対応のホース格

納庫を整備したことにより、町民は広く水道事業の恩恵を受けることになったところである。そうしたことを踏まえ、未加入

地区の水道組合に強く啓発を行い、より一層の加入推進を図られたい。

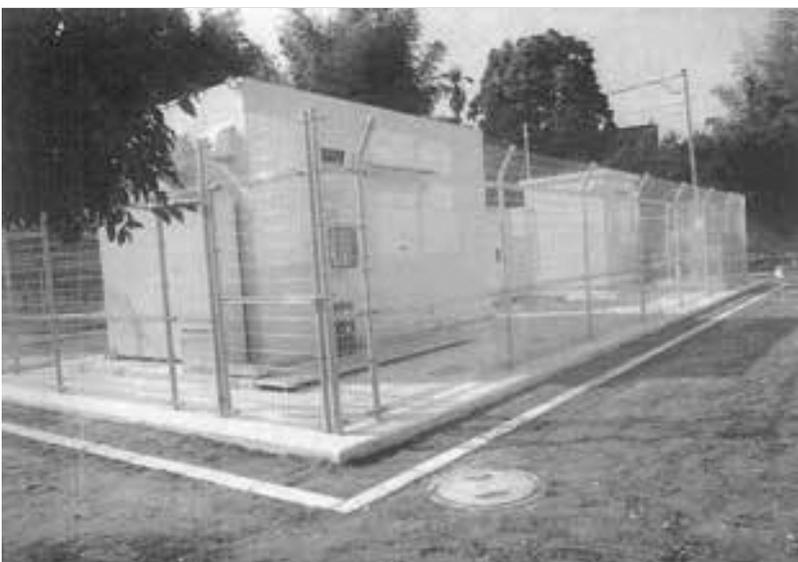
○ 出納室

指定金融機関の業務については、十分に協議した上で、これからも協力体制を図り、厳正確實かつ適正な公金事務を行われたい。

基金運用については、確実有利な公金の管理・運用を行い、必要に応じ最も有利な基金管理を進められたい。

公金等の出納及び保管については、徴収から収納までを適切に行

うチェック体制を強化し、慎重かつ厳正に取り扱われたい。



設置された非常用自家発電機

厚生文教経済常任委員会調査報告

調査の結果及び意見

○教育振興課

・学習面において、ICT環境設備機器導入もされているが学習成果が見えない。校舎の大規模改造や空調も整っている。今後大きな成果が表れることを期待する。

・スクールカウンセラーや教育サポーターの協力による「心の教育相談」を受けている子どもが増えている。子どもたちが健やかに学校生活をおくれるよう強く願うとともに、学校教育充実推進委員会と家庭の連携をとり、学力等の向上に努められたい。

・福島キャンプスクールが28年度で終了した。延べ人数



ICTの教師講習

99人と多くの福島県の被災児童との交流ができ、充分目的達成ができたと思う。

・郷土芸能団体が6団体あるが、いずれの団体も後継者の確保が困難な状況であるので、保存継

承へ更なる財政支援等を望む。

・町の移動図書において、利用者の把握や移動が困難とされる方のことを充分に考慮し巡回経路の見直しを検討されたい。

○健康保険課

・国保税不納欠損額が前年度約203万円から28年度は約451万円と増加している。制度上の事情もあるが、国保財政健全化のため更なる徴収努力を望む。

・中学生の血液検査は、血液の実践的な学習と併せて、若い人が健康への興味を持ち、自分の健康意識を高めるために、事業の継続的な実施を望む。できることなら、親子同時の検査を実施し、家族の健康意識の高揚を図られたい

・運動普及推進協議会が28年度で

解散となったことは残念である

が、要請があれば協力していただけるといことなので、今後も他の健康推進団体と連携を取りながら健康増進を図られたい。

・28年度導入の「かいもん号」は

町民の方より好評を得ている。今後は、見直される予定の乗合タクシー運行事業、移動図書やかいもん号と連携した高齢者の安否確認ができるよう望む。

○住民福祉課

・町民相談業務については、28年度は区長から101件の要望書が提出され、内82件が処理済みになっているが、住民と最も密接な関係にある業務であるので、今後においても更に速やかな対応を望む。

・町民相談で振り込め詐欺に類似した相談が増えている。人吉市消費生活センターと連携を取り、今後も啓発や被害防止に努められたい。

・ゴミ対策において、ゴミの分別の指導をこれまで同様に行われたい。また、庭木剪定後の剪定枝葉も燃えるゴミとして出されることで、ゴミの重量増につながる。処理方法を考慮され減量化につながるよう、これからの課題として取り組まれたい。

・28年度の成婚は3組でこれまでと合わせ19組の成婚者が誕生し、そのうち15組が本町に在住されていることは喜ばしいことである。今後、新しい家庭を本町で育んでもらい「錦町を選んだ良かった。」と思われるような環境作りと新たな成婚者の誕生を願う。

・子宝祝い金が改正され83名（第1子25名、第2子22名、第3子

19名、第4子14名、第5子2名、第6子1名）の家庭に支給された。子育て支援に、より一層努力されたい。

○農林振興課・農業委員会

・農業委員会法の制度改革により、委員会活動が、より活発になったことは評価する。

・有害鳥獣被害額は年々増加している。今後も鳥獣被害対策実施隊の協力を得ながら、被害減少に努めるとともに、たけのこ・竹材生産支援事業等の周知に努め推進されたい。

・新規就農者育成資金として、青年就農給付金が23経営体に対し、33、375千円交付された。このことは後継者に対し制度を周知した方策と評価する。しかし、今後農業者の高齢化は更に加速し、耕作放棄地の増も考えられるので、農業振興を図るため新規就農者の育成に努め

られたい。

・WCS用稲の作付けは406ヘクタールであったが、作付け管理のばらつきが見受けられる。今後は肥培管理の指導を徹底されたい。



福島キャンプスクールにて交流風景

9月
定例会

基地跡活用事業予算可決



ミュージアム完成予想図

平成29年第3回定例会は、9月6日から15日までの10日間の日程で行われ、平成28年度各会計決算認定6件、平成29年度各会計補正予算4件、条例改正等4件、報告2件が上程され、いずれも原案のとおり可決した。このほか陳情1件が上程され、総務建設常任委員会に付託され、採択された。
なお、今回の一般質問には、6人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

- ① 錦町RVパーク使用料条例
錦町農産物等直売所（道の駅）の駐車場の一面を利用して整備する車中泊用駐車場（RVパーク）の供用開始に伴い、施設使用者から使用料を徴収するために制定するもの
- ② 錦町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
子ども医療費助成の申請について、やむを得ない事情がある場合の申請を認めるよう改正するもの
- ③ 錦町工場等設置奨励条例の一部を改正する条例
- ④ 錦町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例
「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」の一部改正に伴い改正するもの

平成29年 第3回 表決一覧

(賛成=○ 反対=×)

議案名	議員名	池田	藤川	岡田	金山	柳瀬	右田	守永	久保田	荒川	高田	土肥
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

報 告

①議会の委任による専決処分等の報告について

②平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

陳 情 書 採 択

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する意見書

市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めるところを基本とする森林環境税（仮称）の創設」を求めるもの

第 3 回 臨 時 会

平成29年8月1日に行われ、平成29年度錦町一般会計補正予算についての議案が上程され、原案のとおり可決した。また、各常任委員会委員、議会運営委員会委員、広報特別委員会委員を次のとおりそれぞれ選任した。

○議会運営委員会

・議会を円滑に、かつ効率的に運営するために設置される委員会

【調査権】

・議会の運営に関する事項
・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
・議長の諮問に関する事項

- 委員長 高田孝徳
- 副委員長 岡田武志
- 委員 土肥俊一
- 荒川孝一
- 藤川喜一

○総務建設常任委員会

・総務課、企画観光課、地域整備課、税務課、出納室、議会及び監査事務局を所管し、それぞれの業務内容や予算及び決算等の審査を行う委員会

- 委員長 土肥俊一
- 副委員長 藤川喜一
- 委員 市田昇
- 高田孝徳
- 守永慶次郎
- 岡田武志

○厚生文教経済常任委員会

・住民福祉課、健康保険課、農林振興課、農業委員会事務局、教育委員会事務局を所管し、それぞれの業務内容や予算及び決算等の審査を行う委員会

- 委員長 荒川孝一
- 副委員長 柳瀬みどり
- 委員 久保田文男
- 右田宣之
- 金山民幸
- 池田秀晴

○広報特別委員会

・年4回発行する「議会だより」を編集する委員会

- 委員長 金山民幸
- 副委員長 池田秀晴
- 委員 土肥俊一
- 荒川孝一
- 柳瀬みどり

第 4 回 臨 時 会

平成29年9月26日に行われ、錦大橋上部工防護柵設置工事請負契約の議案が上程され、原案のとおり

可決した。契約の相手方は、宮地エンジニアリング株式会社で契約金額は9,331万2千円。



完成間近の錦大橋

■町づくり部と区長会と意見交換

7月24日、役場会議室において、町政等について区長会（今田良久会長）と議会との意見交換会が行われ、皆様に議会活動に対して関心を持ってもらうことと、意見交換の場を設け、議会及び議員の政策能力の強化や政策提案の拡大を目的として、主に左記の意見要望が出され、活発に交わされた。

- ① 錦こども園前の信号機設置について
- ② 高齢者の活力方策について
- ③ 防犯等電気料金負担について
- ④ 敬老会運営について
- ⑤ 庁舎前国道の交通安全対策について
- ⑥ 人口減少等における分館活動について



議会トピックス

■町村議会常任委員長・

議会運営委員長研修会

8月22日、美里町文化交流センターひびきにて熊本県町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会が開催された。研修内容は、大森彌東京大学名誉教授による「二元的代表制の意義と議会の機能強化」というもので、選挙を通して一般的な民意の指示を得ているという意味で、議会も首長も意思決定の正統性を主張でき、したがって、それぞれ、住民に対して責任を負っているという二元的代表性の意義から始まり、議会と首長の関係がぎくしゃくし、対立が強まれば、自治体としての意思を確定できず、行政が停滞して、地域の将来や住民の暮らしを危うくしないとも限らない。日頃から、両者間で意思疎通を密にし、折り合いをつける必要があり、また議会がくつきりと存在理由を示すには「チーム議会」の実現が必要である、そのためにも議員間の討論とその集約こそが議会たるものの本質であるというものがあった。



■防災の3段階

『予防・応急対応・復旧』

10月4日美里町文化センターにおいて、県下町村議会議員研修が開催された。講師は有浦隆氏（熊本県危機管理防災課・危機管理防災企画監）で、町村防災体制のあるべき姿の提案について講演があった。

災害を未然に防止し、災害が発生した場合に被害の拡大を防ぎ、災害の復旧を図ること。防災の本質は、予防にあると力説。これまでのデータを把握し、早めに、明るいうちに予防的避難を呼びかける。危険地区からの移転を平素より促進し、土砂災害を未然に防ぐなどの対策を心がけることが大事である。

町村の防災対策は、町村間で格差があり問題点も多い。災害発生時の対策会議のあり方や、首長と各課員の情報の共有がない、などが挙げられた。

災害に強い町となるために提言。◎住民自らが準備できていること。◎防災リーダー、スペシャリストがいること。◎災害発生後の行政事務に滞りがいないこと。◎リュックに日用品（食料・医薬品・洗面具・下着等）を、最低3日分（公助が整うまで）をセットでバックして備蓄すること。等々が挙げられた。

錦町としての防災計画の具体策について、今一度チェックしていくことが求められている。



議会トピックス

■下球磨町村議員グラウンドゴルフ大会

9月26日秋晴れの下、下球磨議員のグラウンドゴルフ大会が開催された。この大会は、下球磨議員の連携と健康増進を計ることを目的として毎年開催されている。

開催場所は、各町村毎年順番に周り今年度は五木村の五木源パークで行われた。県の正式コースにもなっており県民体育祭も行われたコースで、私達もたがいのチームを激励しながらプレイに汗を流した。

懇親会では、まず成績発表があり五木の特産物を景品とし各町村の功績を称えた。その後共通の町村の問題点等を話し合いながら杯をかわし親睦を深めた。

10月18日は、球磨郡全体の大会もあり、併せて、議員の10年表彰も行われ、錦町からは4名の議員（市田、久保田、守永、荒川各議員）が表彰を受けた。



表彰風景

一般質問

町政の「こ」が聞きたい

6人が登壇
(要約掲載)

ICT機器の学習からの学力は



柳瀬 みどり 議員

柳瀬 小学校・中学校でICT機器（タブレット）環境設備を取り入れてあるがその成果は？
教育長 小学校では、授業展開のどの場面でのように活用すると効果的か、或いは実践をおとして研究を進めているところだ。課題把握や意見の練り上げなど、学級全体で使用する場合やひとり学習の場面での活用、それから学習への意欲や理解が高まっていると思っ

ている。また、毎日の学習で効果的に活用することができていると思っ

ている。中学校では、授業においてには生徒がタブレットパソコンを活用して共同学習、調べ学習を実施しており、ICT機器を、操作はもちろんだが、授業で文字入力

の技能を高めるためのタイピングなども実施している。制定のアンケートでは、どの学年においても90%以上の生徒がICTを活用した授業がわかりやすいと回答を

している、学校から報告を受けている。

柳瀬 錦中の学力は、全国と比べてどの程度なのか？
教育長 本町は小学校3校・中学校1校あるが、確かに非常に厳しい状況にある。小学校は基礎的、基本的なことは全国を大体上回っている。応用での活用能力が若干

全国で下回っていると分析し、対策を各

学校で校内研修で進めているところだ。中学校だが、4項目とも全国平均は少し下回った状態である。どのような対策を立ててICTを活用して学力向上を図るかというのが今後の課題だと思っ

教育委員会も小中学校も一緒になって学力向上に取り組んでいきたい。

柳瀬 ぜひ頑張ってください。

英語検定料補助を高校生にも

柳瀬 錦在住の高校生にも英語検定の補助はできないか。

町長 大学受験が大きく変わり、英検の1級2級の取得者が大学入試には有利という新聞記事もあり、国際的な子どもを育てるとい

意味でも小中学生の英語の検定料の一部補助をしたところだ。高校生の補助については財源の調査をしながら検討したい。錦中学校、小学校の学力の位置については、熊本県の試験では錦町はトップだ。ところが全

国を見ると少し下がっている。教育長が分析をしているので教育委員会のほうで改善されて、全国で1番を目指すよう頑張っ

てほしいと思っ

ている。

柳瀬 英検補助については、保護者の方からの切なる願

いでもあり、検討を切に願う。



タブレットによる学習

町長の政治姿勢を問う

藤川 町長の最近の「政治姿勢」について三点を例示し所見と見解を求める。

公営ギャンブル場（場外舟券売場）「誘致計画」をめぐる問題点について

藤川 昨年11月全員協議会において町長より誘致計画の説明を受けて以来、その間、新聞はじめマスコミも注目し町民有志により「考える会」も結成された。町民の関心も高まり様々な動きが起きている中、町長は6月議会で誘致計画は「一時凍結」する旨表明した。



藤川 喜一 議員

誘致条件が変わったのが主な原因ということだが今の町の町政状況では誘致は困難という判断である。実質的に誘致は困難ならば、ギャンブル施設誘致に対する町民の不安を取り除く意味で「凍結」ではなく「白紙撤回」「断念」すべきではないのか。

町長 今の町の財源からすれば誘致は難しいと考えている。私の町長の任期はあと一年半であり任期中は難しいと思う。

「人吉海軍航空隊基地跡活用事業」に対する町民の認識と今後の進め方

藤川 昨年、戦後70周年ということもあり木上地区にあった旧人吉海軍航空隊基地が現存する貴重な戦争遺跡として、新聞テレビをはじめマスコミが大々的に報道したこともあり脚光を浴びている。町当局が戦争の愚かさ、悲惨さを後

世に伝える負の遺産として保存すべく積極的に努力されていることを大いに評価する。「基地跡活用事業」については平和に対する基本的な視点が大事であると考えている。町長の基地跡活用事業に対する基本的認識、考え方について伺いたい。

町長 二度と戦争を起こしてはならない。そのための教育施設というか、平和を教える教育施設として整備していきたい。プラス観光面にもつなげていきたいと考えている。

藤川 1億6千万円の多額を使う「活用事業」である。戦争遺跡保存ネットワークなどの専門家集団、学識経験者、町のプロジェクトチームなどで「検討委員会」をつくり進めるべきではないか。平和を希求するシンボルの施設となるよう望む。



平和を希求する岩に

町政座談会の位置付けとあり方について

藤川 町政座談会は住民自治の考えのもとに町執行部が直接各地区に出向き、直接町民の声を聞き町政に活かすことが目的。出席率が毎回下がってきている。（今年19.92%）工夫が必要ではないか。

住民福祉課 参加率が低迷している現状を詳しく分析し、今後のあり方を含めて見直す必要がある。

町政座談会、町民の声を



岡田 武志 議員

の方々に町道手入れとして、年2回の除草作業等を実施していただいている。

岡田 町道手入れについては、地域によって大きな格差が生じ、すでに限界にきている所がある。また、これに類似して、溝さらい等の作業も深刻な問題をかかえている。農業用の用排水路は、地域の環境保全や、大雨時の排水施設として、大きな役割を持っている。農業者だけの問題ではない。

町長 今回の町政座談会の中で、そう言った声が多く寄せられた。時代が変わり、人口も減り始め、空き家等が増えている。地域で実施できない除草作業については、シルバー人材センターに新たに委託するなど、対応していきたいと考えている。また、今年度から新に、

支障木伐採事業補助制度を取り入れた。周知を図り、制度の利用をお願いしたい。なお、緊急性を有する場合、道路管理者である町で対応させて頂く。

岡田 新たな補助制度で除草や伐採に使用した機械等のリース代を助成してくれるのは、ありがたいことだ。ただ、シルバーの方々で対応出来ない時もある。作業する機械のオペレーター等の問題（安全面）もある。地元の建設会社（プロ）に依頼することも必要になってくると私は提言する。

※他、「九州北部豪雨における流木や河川の安全対策」について、「改修が予定されている総合福祉センターの将来の在り方」等について質疑



町道を覆う枝葉（上大鶴地内）

防災の本質は、予防である

荒川 九州北部豪雨被害状況を受け、本町発生時のシミュレーションとして、単独で避難するのが困難な高齢者等の支援体制はどうなっている。

事前に避難準備体制を取っているので対応できると思っている。

荒川 スピード感のある対応、救いが緊急時には必要。整備を願いたい。

健康保険課 大雨及び台風時に避難所が開設された場合、包括支援センターから各区長へ連絡し、各区長から要援護者に対し避難の呼び込みをもらうようにしている。

※他、「山腹崩壊最大の原因にされる地形地質の調査はできているのか」「土砂崩壊防止機能として、山林放置間伐採整理、法正林化を検討すべきではないか」を質疑

荒川 緊急事態の場合、スピード感を持った連絡体制なのか疑問だ。

総務課 危険な状態になった場合、

《町民の声より》

荒川 太陽光発電施設、賃貸住宅が文化財近隣に建設されたり、予定されたりしている。文化財保護のために制約を検討すべきではないか。

教育振興課 計画された場合、埋蔵文化財保存地であるかどうか業

者が確認はするが、現在のところ保存地でない場合には何ら規制はない。又、文化財近隣の個人の土地に建物等を建てる場合には、個人の土地であり、制限を設けるのは難しい。

荒川 固定資産税が入るから良いという考え方を直すべきではないか。土地売却は民間と民間であり、行政は不介入であるが、文化財近隣という場合は、保護の為介入すべきでは。

町長 単独で規制しても法的には効力を発しない。ただ設置会社に対しては配慮して欲しいと苦言はする。

荒川 今後、太陽光発電設備施設建設が始まったある地域において、業者の説明会に同席して欲しいと要請があり参加した。その時「ふるさとの豊かな風景が、無機質なものに囲まれていくことは悲しい。将来、子ども達に帰っておいでと言えなくなる」とある方が言

われた。ふるさとの風景を守る為、又、町文化財保護の為にも、行政として手立てを考えていくべきだ。



次々と町内で太陽光発電設置工事が……

町民にとって最大の福祉である

給水事業を検証



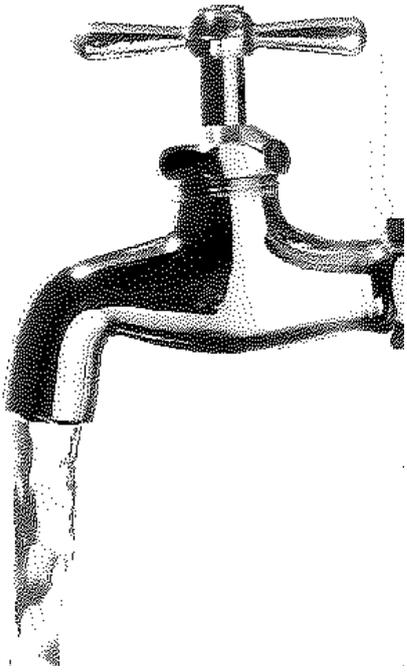
守永 慶次郎 議員

守永 町は4月1日よりこれまでの簡易水道事業から上水道事業、公営企業会計に移行したが安価な水の供給は維持できるのか。

地域整備課 公営企業は料金収入をもって経営を行う独立採算を基本原則とする。しかし人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う更新費用の増大、耐震化等、災害対応の強化等水道事業を取り巻く環境は厳しさを増している。国においては公営企業の廃止、民営化、広域化等公営企業のあり

方に関する研究会が設置され抜本的な改革が検討されている。本町においても将来にわたって安定的に事業を継続していく為に長期的な需要の見通し、更新等当初の計画、料金改定等に関する計画に基づき中長期の投資と財政計画を鑑み今年度中に経営戦略を策定し持続可能性を検討していく。

守永 水道は国民の生命インフラとして生存権を保障する憲法25条の法体系に組みこまれている。町民としては独立採算性になろうとも安価な、そして安全な水の供給を望むものである。いたずらに生命の源である水道水



命の水道、恒久的な給水を

の料金値上げはあつてはならない。7月に政府は水道民営化を進めるが如く水道法改正案を国会に提出した。水道料金の決定権を民間企業が持つと2倍3倍になる可能性がある。又各自自治体も民営化に次々に手を挙げているということだが町長はこの状況をどう考えるか。

町長 本年度から皆さん方の御理解を頂き企業会計へ移行した。企業会計になると収入イコール支出になるような料金の設定となる。これからの社会現象の動きからみると改定する時期がくるのでは、と思う。又、人間にとって一番大事な飲料水というものを民間業者

に移行することは乱暴な話であり民営化することはない。

盤石な水源の確保は

守永 現状の水源で永続的な供給量を賄えるのか。

地域整備課 H38年度までの給水量及び予測量を算出している。生活用一人1日当たり平均240ℓと設定。人口が約900人減少と予測、町内に5つある取水施設の能力から現状の水源で充分賄えるかと判断している。

守永 本町の近くには活断層が存在する。大地震の際には取水している水脈が枯渇する恐れもある。又土壌汚染により有害物質の混入も心配される。永続的持続可能性として市房ダム湖水の活用もある。球磨盆地一体として広域的な考えで対処すべき時がくるのではと考える。

防犯カメラの設置により安心の確保を



金山 民幸 議員

金山 本町防犯カメラの設置状況に今後の計画は。

総務課 町で体育館、武道館裏外5基、関係協会が国道、球磨中央高校前交差点に2基設置計画している。

金山 設置経費節減のために、自販機活用やリース方式を検討しては。

総務課 自販機活用は検討する。又リースより購入の方が低価である。

金山 録画データの管理運用指針等は定めてあるのか。

総務課 定めていない。

金山 定められることを要望する。又、カメラ設置については、

町民に周知し安心感を提供してはどうか。

総務課 カメラ設置の周知に努める。

金山 犯罪防止や行方不明者等の早期発見の効果面から、設置場所の検討を要するカメラを見受けるが。

総務課 犯罪防止を重点にしているので考えていない。

金山 郡市連携して、国県道市町村界への設置を県に要望してはどうか。

町長 既に国道には県で数ヶ所設置している。今後は本町公用車へのドライブレコーダー設置を考えている。

戦争遺跡管理費と地域経済活性化は

金山 人吉海軍航空隊跡地整備事業が全国的に注目を浴び、今後見学者の増加が予想される。整備後の管理費や地域への経済波及効果をどのように考えているか。

企画観光課 収入では入館料や物

品販売等で約1千万円、支出は人件費や維持管理費約1.5千万円を見込んでいます。又、地域への経済波及効果については、土産品等の販売や観光誘客等により人吉球磨の観光振興に繋がると考えています。

金山 管理費については独立採算

の原則に立った収支を検討されると思うので、現時点における見込額と捉えておく。地域への経済波及効果については、旧軍用道路に桜を植栽し付近に食事処がないので茅葺の海軍食堂を設けて、地元食材による食事の提供や土産品販売による効果と雇用の確保に繋がると思うが、JA、商工会、関係者での協議の場を設けてはどうか。

町長 経済波及効果については、町全体で1.5千万円以上あればよいと思う。食事や土産販売等に関する協議会の設置については既に指示しているところで、早速始動の予定である。

早急な交通安全対策を

金山 一丸久保線（久保〜西駅間）三丁指杉線（三丁地内）の早急な改良計画は。

地域整備課 緊急性、危険性等を勘案して実施していく。

町長 一丸久保線については、1.5車線化にする必要があると考えている。



改良が望まれる町道（一丸久保線）

議会のうごき

7月

3日	・全員協議会	19日	・決算審査（～28日）
10日	・広報特別委員会	22日	・あさぎり町薬草加工所新築工事落成式
12日	・例月出納検査（～13日）		・国会議員団・県議団・市町村長・正副議長合同意見交換会
13日	・合同期成会定期総会	24日	・広報特別委員会
	・川辺川ダム建設促進協議会定期総会	25日	・熊本県町村監査委員研修会
	・定例郡議長会議	31日	・人吉・日向間一般国道整備促進期成会総会
18日	・広報特別委員会		
19日	・全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会（～21日）		

8月

1日	・全員協議会 ・平成29年第3回臨時会	24日	・例月出納検査（～25日）
3日	・町村議会正副議長研修会	25日	・人吉球磨広域行政組合議会定例会
10日	・定例郡議長会議		・球磨郡町村監査委員研修会
20日	・熊本県女性消防操法大会		・にしき夏祭り
22日	・常任委員長、議会運営委員長研修会	27日	・分館対抗バレーボール大会
23日	・備品監査 ・下球磨町村議会議長連絡協議会総会	28日	・人吉下球磨消防組合議会臨時会
		30日	・議会運営委員会 ・全員協議会

9月

4日	・定例郡議長会議	26日	・平成29年第4回臨時会
6日	・平成29年第3回定例会（～15日）		・下球磨町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会
14日	・金婚夫婦表彰式	27日	・例月出納検査（～28日）
16日	・第72回熊本県民体育大会開会式		・球磨畜産共進会
21日	・秋の全国交通安全運動出発式	28日	・人吉球磨広域行政組合議員視察研修
24日	・小学校運動会（一武小・木上小）		
25日	・荒木泰臣氏全国町村会会長就任祝賀会		

傍聴席から一言



松清 五男さん
(木上新立)

機会があれば、議会傍聴には行ってみたいと思っていたところ、ちょうど役場に行く用事があり、議場へ行くこととなり、9月6日に傍聴しました。

議場に入ると、シーンとした雰囲気の中に、行政側の視線を肌を感じ「これが議場か」とゾクゾクしました。そして、本会議が始まり、流れにそって質問に入り答弁となりましたが、答弁書に顔を向けたまま読み上げる？ことや歯切れの悪い質問の仕方はもう少し頑張って欲しいと思いました。

短期間での議論で良い結果を導き出すことは難しいと思いますが、議場は戦場であり色々競って欲しいが場外では町民の声をしっかり聞いて欲しい。

そして、我々町民も関心を持たなければならぬと思います。

軌跡

外は黄金色に染まり、一年のご苦労が実る季節、軌跡を調べたら数学的には幾何学で点がある条件に従って動いたときに、その点が描く図形。また、人間的にはある人の人生や行いのあとと書いてあり、そこで、私は65年間生きてきて何をしたのだろうと考えてみました。私の子供が高校生の時、山本五十六の人生訓を教わり、その中には、苦しいこともあるだろう、言いたいこともあるだろう、不満なこともあるだろう、腹の立つこともあるだろう、泣きたいこともあるだろう。これらをこらえてゆくの、男の修行であるとありました。昨今、国内外や身近な所で批判の応酬ばかり、人の事を中傷する時は、その人の心が如何に荒んでいるかだと思ふ。私は、常に人を中傷する前に自分が自分を反省する事を心掛け、残りの人生を謳歌する為、周囲の人に好かれ、身近な人を好きになる事が私の人生の軌跡では。肩の力を抜いて前に進みたい。

(文責 池田 秀晴)

「広報特別委員会」

委員長 金山 民幸
副委員長 池田 秀晴

委員 荒川 孝一
土肥 俊一
柳瀬みどり
議長 市田 昇